

2016年1月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会
研修会担当理事 伊藤・金村・河野・原田

JARIP 研修会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の研修会を下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研修会の概要

日時：2016年2月18日（木曜日） 開始：14:30、 終了：16:30（～17:00）

場所：ラ・メール三番町ビル内 東京海上日動会議室（東京都千代田区三番町 6-4、地図は次頁）

講師：田中 千晶 氏

ウイリス・タワーズワトソン リスクコンサルティング&ソフトウェア部門 損害保険担当ディレクター（講師略歴は次頁）

講演題目：「テレマティクス保険の現状と今後の展望」

講演概要：

テレマティクス保険とは、ドライバー個人の運転履歴に関する膨大な実績データ（ビッグ・データ）をプライシングに活用する自動車保険のことであり、米国を中心に急速に普及している。

米国では1990年代後半にテレマティクス保険が発売され、2012年以降急速に発展している。現在のマーケットシェアは10%未満といわれているが、2020年には20%に達するとの予測もある。

テレマティクス保険は、保険会社にとっては、ビッグ・データの収集・管理・分析という新しい課題の克服を求めるが、保険事故の発生リスクをより正確に保険料に反映でき、テレマティクスを活用した各種サービスによって商品の差別化が実現できるという大きなメリットをもたらす。消費者にとっては、保険料率決定のメカニズムが理解し易く、かつ保険会社からのフィードバックをもとに、自らの努力や意思で保険料率を管理できる革新的な商品といえる。さらに監督者や政府にとっても、社会全体で自動車事故の減少を期待できるというメリットがある。こうした期待の高まりから、米国のみならず、欧州、カナダ、中国を始め、世界各国で積極的な展開が進められている。

一方、日本においては、2015年から一部の保険会社が運転履歴データを活用した保険サービスを開始したばかりであり、テレマティクス保険の先進国とは状況が異なるようである。

本講演では、テレマティクス保険の諸外国における現状を紹介した後に、導入に向けた課題や今後の発展・展開について議論したい。

2. 参加費 会員・学生会員；無料、 非会員；5,000円

（法人会員は、3名までは無料、それ以上は1人当たり5,000円）

→ 研修会当日、会場受付にてお支払い下さい。

3. 参加申し込み

期日：2016年2月12日(金)

学会サイトの【専用申込フォーム】より申し込みください。 <http://www.jarip.org/>

- ・申込者数が定員70名に達した場合は、その時点で締め切ります。
- ・今回は参加者多数が想定され、参加申込を会員優先とするため、次の方式とします。

- ✓ 会員(含. 法人会員の3人目まで)の参加申込は、本案内文発信後、即時受付開始します。
 - ✓ 非会員(含. 法人会員の4人目以降)の参加申込は、2月1日から受付開始します。
- このため、仮に1月31日以前に定員に達した場合、非会員の方は申込できません。

4. 講師略歴

- ・興亜火災海上保険にて業務、経理、経営企画部門を経験後、同社生保子会社の設立に従事。
- ・1998年のウイリス・タワーズワトソン入社後は、ERM、リザービング、商品開発、テレマティックス保険、M&A、保険計理人受託等、保険数理業務を中心とした幅広いサービスを、国内外の生命・損害・再保険会社、少額短期保険業者、共済、キャプティブ等に対して提供。
- ・上智大学法学部卒業。公益社団法人日本アクチュアリー会正会員
- ・ウイリス・タワーズワトソンは、全世界で50社以上の保険会社等に対して、テレマティックス保険に関する、事業戦略の検討・立案やスコアリングサービス(米国では45州以上でRSO免許を取得)を提供している。

以上

【会場地図】 ラ・メール三番町ビル内 東京海上日動会議室(東京都千代田区三番町6-4)

